

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
1 地域における子育てでの支援		
1 地域における子育て支援サービスの充実		
公共施設の利便性向上と活用		
1 幼稚園や保育所などを地域に開放し、高齢者と子どもとのふれあいの機会づくりを提供する（保育所地域活動世代間交流）	学校教育課 こどもみらい課	・地域の方々を招き交流をしたり、地域に出掛けたりして、ふれあいの機会を設けた。（学校教育課） ・地域の人材を活用したり、地域に出掛けたりして学ぶ機会を工夫してきた。また、そのことが地域への公開保育につながった。（学校教育課） ・保育所地域活動事業 9園：2,700,000円（こどもみらい課）
2 地域の地区センターや公会堂を開放し、子どもの遊びや勉強スペースとして活用する	地域支援課 社会教育課	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。また、各地区センターで開催される事業で子どもが参加できる事業を行った。加茂小学校では正式ではないが地域子ども教室を加茂地区センターにおいて実施したので協力した。（地域支援課） ・地域子ども教室の活動場所として地区センターを活用。（4回：6講座 110人）（社会教育課）
地域で子育て支援できるような環境づくり		
1 地域、学校、家庭が連携を取り交流できる機会づくり	学校教育課 こどもみらい課	・学校行事や授業参観などの機会に、保護者をはじめ地域の方々に公開し、学校教育への理解を深めると共に、意見を聴取して連携を深めた。（学校教育課） ・放課後の居場所として地区センターを開放。（こどもみらい課）
2 核家族の増加による地域コミュニケーション不足に対応するための交流機会づくり	地域支援課	地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。
活動への積極参加ができない母親へのフォロー		
1 訪問指導	健康福祉課	新生児・乳児を持つ家庭や育児不安の強いケース・育てにくさのある子供のケース等に訪問活動を行った。また、必要に応じ妊婦にも訪問活動を行った。 訪問件数：526件
2 電話連絡	健康福祉課	育児不安の強いケースや健診未受診のケースに電話にて受診勧奨や状況確認等を行った。電話による相談の受付も実施した。
3 母親のストレス解消の場として、同世代が交流、話し合える場の提供（児童館事業）	こどもみらい課 児童館	・公園 未実施 菊川駅南地区 3ヶ所 H18～H20 未実施 南部第二地区 4ヶ所 H19～H20 未実施 潮海寺地区 2ヶ所 H18～H21 ・児童館利用者 菊川児童館 25,522人/年 小笠児童館 15,361人/年
子どもに関するイベントの開催時期の配慮		
1 働いている親が気軽に参加できるための、休日のイベント開催	こどもみらい課	5月27日土曜日に、親子のふれあいの場を創造するため「親子のつどい」開催。
各種相談や教室の開催時間や曜日の配慮		
1 妊娠時に学べる出産や子育てに関する教室	健康福祉課	妊婦教室（プレママサロン）の実施。 延参加者数：117名
2 働いている人に配慮した夜間や休日の子育て教室の開催時期の見直し	健康福祉課	夜間に両親教室を実施。（年間3回） 参加者数：33組 63名
携帯メールなど多様なメディアを活用した子育て情報の提供		
1 子ども用のサービス・情報の提供	こどもみらい課	ホームページに子育ての情報を掲載した。
2 予防接種や健診のお知らせをメールで提供する	健康福祉課 企画政策課	ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。（健康福祉課）
3 保育所や幼稚園の情報提供を行う	こどもみらい課	内田保育園のみ平成19年度から実施予定
4 子育てに関する様々な情報提供	こどもみらい課	子育てナビを2,000部作成し、窓口、市内児童館、図書館等こどもの集客場所で配布。
相談員体制の充実		
1 家庭児童相談室（家庭相談員の配置）による子どもの心のケア	こどもみらい課	延相談件数：1,308件（内新規受付65件）
2 気軽に相談できるような場所（安心して相談できる対応）の提供	こどもみらい課	家庭児童相談室に家庭相談員を配置している。
3 主任児童委員の研修育成	こどもみらい課	18年度は未実施。

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計	画	担当課	
2 保育サービスの充実			
通常保育の柔軟な対応			
1	暖かくゆとりのある保育（保育士のゆとり・資質向上）	こどもみらい課	市内保育士の合同研修の実施。（幼児施設連絡会主催）
2	待機児童の解消	こどもみらい課	待機児童は0である。
延長保育への対応			
1	延長保育への対応	こどもみらい課	延長保育実施園：3園 18,172,800円
2	18:00以降の私立保育所での延長保育の対応（一部3～5年で実施）	こどもみらい課	延長保育実施園：3園 18,172,800円
ニーズに合わせた休日保育の導入			
1	サービス業に対応した土日の保育（1園）	こどもみらい課	未実施（平成21年度～実施予定）
増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実			
1	未実施学校への学童保育の導入	こどもみらい課	7クラブ8箇所のクラブの開設があり、市内全小学校を対象に開設した。
2	緊急時気軽に利用できる学童保育	こどもみらい課	通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童を受け入れた。
3	夏休み等の預かり	こどもみらい課	短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受け入れをした。
4	学童保育の充実	こどもみらい課	指導員研修を年11回実施した。
気軽に利用できる一時保育体制の強化（9園）			
1	一時保育所の追加	こどもみらい課	合計10園で実施した。 延人員：1,313人
2	気軽に利用できる一時保育	こどもみらい課	利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。
3	緊急時に利用できる一時保育	こどもみらい課	前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。
4	リフレッシュのための一時保育	こどもみらい課	利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。
ファミリーサポートセンターのピー・アールと利用促進			
1	ファミリーサポートのピー・アール（ホームページ等）	こどもみらい課	相談に来る保護者へパンフレット等を配布した。
2	ファミリーサポート受け入れ側の人員の育成。依頼者の募集・登録（掛川広域で対応）	こどもみらい課	会員状況 提供会員 9名 依頼会員 22名
地域子育て支援センターの機能強化			
1	地域子育て支援センターの機能強化	こどもみらい課	相談業務（電話29件、来館相談199件） 子育て支援センター 子育て講座（2回：33人） 親子教室（41回：1,541人）
2	小学生への対応	こどもみらい課	未実施 子育て支援センター
3 子育て支援のネットワークづくり			
子育てサークル（母親クラブ）の充実			
1	補助金交付による活動の充実	こどもみらい課 児童館	市内3団体の申請より補助金 567,000円を交付した。 会員数：96名
2	子育て支援情報の提供	こどもみらい課	子育て情報ナビを2,000部作成し、窓口や市内各施設等に配布した。また、市内児童館情報専用コーナーを設け、保育園・幼稚園情報等を提供した。
地区センターや地域の公民館など既存施設の活用			
1	地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	地域支援課	子育て支援センターによる移動子育て支援センター・移動児童館を行う場所として地区センターを貸し出した。

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進（保健部門）		
1 子どもや母親の健康の確保		
子どもや母親の心のケア		
1 不妊治療に対する医療費助成（県事業）	健康福祉課	県事業の周知・案内の実施。
2 妊婦健診の助成	健康福祉課	個別健康診査方式で、受診券を発行し、各委託医療機関で受診を勧めた。妊娠前期・後期の2回実施。出産予定日に35才以上の妊婦には、後期に超音波検査を助成した。前期受診率99.6% 後期88.6%
健診や予防接種での配慮		
1 お知らせをホームページに掲載（再掲）	健康福祉課	ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。
2 予防接種の集団接種・個別接種	健康福祉課	BCG・ポリオは集団接種、その他は個別接種で実施。接種率：80～100%
訪問サービスと保健師の資質向上		
1 乳幼児家庭への家庭訪問	健康福祉課	出生時、第1子には全戸訪問、第2子以降は希望者に実施した。新生児・乳児：220件 また、療育・健診関係では94件実施した。
2 保健師の資質向上	健康福祉課	担当ケースの処遇等について共有して話し合いをもった。研修等へも参加した。
2 食育の推進		
食育指導の実施		
1 参加の呼びかけ、料理教室、離乳食教室、食育講演会など	健康福祉課	離乳食教室12回実施。（出席率：37.8%） 児童館と共催の料理教室実施。 親子料理教室9回 コロコロタイム1回 北小こども教室13回実施
2 参観会等での食育指導	健康福祉課	市内希望する小中学校にて実施7回 幼稚園への実施3回
3 子どもを取り巻く健康被害の防止		
母体と子どもの保護		
1 母親の飲酒、喫煙などに対する指導、受動喫煙、胎児への影響などを指導	健康福祉課	母子手帳交付時にアンケートにて喫煙の有無を聞き取り指導を実施。
2 子どもの前でたばこを吸わないよう指導	健康福祉課	幼児健診・相談の個別指導の場で指導。
公的な場所等での分煙		
1 公的な場所等での分煙	健康福祉課	市役所・プラザけやきについては、総務課に呼びかけ、分煙の実施。
公園、スポーツ施設等での分煙		
1 公園、スポーツ施設等での分煙	健康福祉課 施設管理課	体育館内禁煙（利用者に周知するとともに館内へ禁煙の表示をする。（施設管理課）
4 小児医療の充実		
産科医の確保		
1 産科医の確保	病院	・産婦人科医院 1医療機関 ・市立病院産婦人科 2名の常勤と非常勤で対応
小児科の確保		
1 小児科の確保	病院	・小児科医院 6医療機関 ・市立病院小児科 2名の常勤と非常勤で対応
夜間救急医療体制の充実		
1 夜間救急医療体制の充実	病院	・医師会の夜間救急医療体制を広報に掲載。 ・市立病院で夜間救急患者の受け入れ。
子どもの健康状態に対応した助成の充実		
1 乳幼児医療費等の支援（就学前まで）	こどもみらい課	小学校就学前までの児童の医療費の一部を助成。 H18扶助額：76,958,897円 件数：53,491件
2 小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の給付	こどもみらい課	18年度から実施。給付件数5件

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備		
1 次代の親教育		
次代の親へ結婚、出産、育児の楽しさを伝える教育の導入		
1 妊娠期間中の育児講座の開催	健康福祉課	プレママサロン・プレママ、パパサロンの実施。（実績は前項参照）
2 プレママ・プレパパサロンでの父親の育児参加指導	健康福祉課	プレママ・パパサロンの実施（年間3回） 父親の育児参加を勧めた。（実績は前項参照）
乳幼児と小中高生のふれあいの機会提供による時代の親づくり		
1 ボランティアや職業体験などでの保育所、幼稚園訪問	学校教育課	中学校家庭科、ボランティア活動で保育体験。総合的な学習、生活科、行事や交流活動等で、保育所や幼稚園の訪問を実施。
2 家庭や地域の教育力の向上		
育児の大変さ以上に楽しさを感じられるような親の意識改革		
1 子育ての楽しさを知る機会の提供	健康福祉課 学校教育課	・療育教室「げんきっこ」の実施。実施回数を12回から20回へ増加。延参加者数：185人（健康福祉課） ・講演会や懇談会において、子育てについての学習を行い、楽しさについて知る機会を設けた。（学校教育課）
2 子どものしつけについての学習の機会（健診時個別相談に対応）	健康福祉課	健診時の個別相談にて個々に合った指導を実施。
3 子どものしつけについての学習の機会（教育講演会・2歳児子育て教室）	健康福祉課	2歳子育て教室の実施（年間2回） 参加者数：60人
4 家庭教育学級の参加促進（子育てや子どもへのしつけ以前に育児が必要）	社会教育課	・家庭教育の知識や親の役割を学習する機会の提供 ・家庭教育学級推進事業（通年/幼・保・小・中3学級 1,376人） ・家庭教育支援総合推進事業（23回/2,100人参加）
時代と共に移り変わる育児方法を祖父母世代へアピール		
1 最近の子育ての仕方、食育、孫との接し方、怪我や病気への対応、子どもの発する教養信号の見分け方などについて指導する。（女性の会、寿大学などでの提供）	健康福祉課 社会教育課	健診時の個別相談にて個々に合った指導を実施。（健康福祉課）
子どもが地域活動に関わる子ども会の確立		
1 子どものボランティア体験など	社会教育課	ボランティア活動推進事業 ボランティア支援センター設置 延参加者数：2,105人
季節に応じた行事開催による体験の場の提供		
1 季節に応じた行事開催による体験の場の提供	社会教育課	・わくわく体験セミナー（8.19～8.21/美浜少年自然の家/小・中学生39名参加/宿泊体験・野外炊飯・ウォークラリー等） ・地域文化体験教室
2 子ども遊びを教える大人の養成	社会教育課	地域子ども教室推進事業 放課後の学校施設を活用し、地域住民と子どもたちの交流活動を推進し、165名のボランティアが参加した。（3教室/130回/参加児童324人）
3 子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備		
成長の基礎を作る幼児教育の充実		
1 幼稚園の預かり保育	学校教育課 こどもみらい課	私立園2園で実施 公立園は未実施（平成22年度～実施予定）
2 幼稚園での学校行事に伴う一時保育	学校教育課 こどもみらい課	私立園2園で実施 公立園は未実施（平成22年度～実施予定）
3 保護者を中心とした家庭での教育推進	学校教育課	講演会や懇談会において、子育てについての学習を行った。また、個別に家庭での過ごし方についての相談を受けた。
4 地域社会との連携	学校教育課	地域人材の活用や地域での活動を取り入れたり、地域の人々に活動を公開することで、地域との連携を深めた。
5 行政による幼児教育への関わり	こどもみらい課	幼稚園、保育園に関わる専門部署として「こどもみらい課」を創設した。また、幼児教育の推進及び市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図るため「幼児施設連絡会」を設立した。
保護者を中心とした家庭での教育を推進		
1 保護者を中心とした家庭での教育を推進	学校教育課	講演会や懇談会において、子育てについての学習を行った。また、個別に家庭での過ごし方についての相談を受けた。

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
地域社会と連携した幼稚園づくり		
1 地域社会と連携した幼稚園づくり	学校教育課 こどもみらい課	地域人材の活用や地域での活動を取り入れたり、地域の 人々に活動を公開することで、地域との連携を深めた。
公私幼稚園、保育園、小学校などとの連携強化		
1 公私幼稚園、保育園、小学校などとの 連携強化	学校教育課 こどもみらい課	・保育園、幼稚園、小学校との連絡会を行い、情報交換 を行っている。（学校教育課） ・幼児教育の推進及び市内の幼稚園教諭、保育士の資質 向上を図るため「幼児施設連絡会」で、実技研修や情報 交換を行った。（こどもみらい課）
幼保一元化の検討		
1 幼保一元化の検討	学校教育課 こどもみらい課	市民の利便性向上のため、役所内に乳幼児に関わる総合窓 口としてこどもみらい課を創設した。（こどもみらい課）
だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり		
1 だれからも信頼される学校づくりだれ からも信頼される学校づくり	学校教育課	PTA総会や学校便り・グラウンドデザイン等で、学校経営及 び教育方針についての説明をし、理解を深めた。また、学 校教育の取組やその成果についての評価を児童生徒・保護 者をはじめ外部からもしてもらい、指導に生かした。
基礎基本をしっかりと学べる教育の充実		
1 基礎基本をしっかりと学べる教育の充 実	学校教育課	各学校が、授業改善を重点においた研修に取り組み、授業 研究や外部講師を招聘をしている。また、「静岡県版カリ キュラム」等を活用し、「つけたい力」を明確にした指導 を進めた。
豊かな感性と健やかな心の育成		
1 豊かな感性と健やかな心の育成	学校教育課	全職員が子ども理解に努め、不登校や問題行動、いじめを 最小限度にとどめてきた。また、各学校において観劇教室 や鑑賞教室を計画し、本物に触れる機会を設定した。
家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進		
1 家庭・地域社会と連携を密にした開か れた学校の推進	学校教育課	開かれた学校をめざし、学校公開や学校からの情報発信 （お便り・HPなど）により学校教育への理解を深めた。校 内に「地域交流」の部屋を設置したり、授業での交流や講 師・学校ボランティア等を依頼したりした。
社会情勢の変化に対応していく学校		
1 社会情勢の変化に対応していく学校	学校教育課	菊川市情報教育委員会において、情報教育の推進や情報に よる問題への対策を研修している。家庭においての問題や 特別支援教育での関係機関との連携を図った。
児童、生徒の心のケア		
1 思春期の悩み、いじめ・不登校、進学 など多くの悩みに対応する体制・サー ビス	学校教育課	中学校を中心にスクールカウンセラー・心の相談員を配置 し、悩み等の相談に応じている。また、短期間ではあった が、全小学校に「親と子の相談員」を配置し、教育相談を 受け入れた。
2 色々な悩み、相談についてメールでの 対応	学校教育課	未実施
3 教育相談員の研修（小中学校）	学校教育課	未実施
4 スクールカウンセラーの活用	学校教育課	中学校（一部の小学校を含む）を中心に、スクールカウ ンセラーを派遣し、児童生徒・保護者・教師等の相談に応じ ている。
5 家庭児童相談室との連携	学校教育課 こどもみらい課	要保護児童対策地域協議会と、必要に応じてケース会議に 出席している。
子どもたちの心が豊かになるような土日の過ごし方提案		
1 自然体験やボランティア体験などの機 会の提供	学校教育課 社会教育課	・ボランティア活動推進事業 ボランティア支援センター 設置、延参加者数 2,105人（再掲） ・地域文化体験教室 夏冬2回開催 ・わくわく体験セミナー
4 思春期保健対策		
思春期の心のケア		
1 思春期の心のケア	健康福祉課 学校教育課	・成人式にて性病予防のパンフレットの配布を行った。 （健康福祉課） ・スクールカウンセラーや心の相談員の配置をし、生徒 や保護者の相談体制をつくった。（学校教育課）
2 思春期講座	健康福祉課 学校教育課	・未実施（健康福祉課） ・保健体育の授業として、第二次成長の中で指導をした。 （学校教育課）
乳幼児とのふれあい機会の提供		
1 総合的な学習の時間ならびにボラン ティア体験などの機会に保育所等で乳 幼児とのふれあいの機会づくり	こどもみらい課 児童館	中高生参加の赤ちゃん交流事業を児童館が実施した。延59 人が参加した。

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
5 児童の健全育成		
青少年健全育成の推進		
1 次代を担う心豊かで健全な青少年の育成	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成市民会議各支部活動推進 8支部</li> <li>・入づくりフェスタ開催（11/26/アエル/300人参加）</li> <li>・青少年街頭生活指導（7/19/69人 12/20/74人）</li> <li>・青少年を非行から守るキャンペーン（7/3/菊川駅/80人）</li> <li>・青少年声かけ運動参加促進（150人が新規に参加）</li> </ul>
2 家庭における教育の充実	社会教育課 図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の日啓発同報無線（毎月第3土曜日）</li> <li>・テレビ寺子屋公開録画（9/29/アエル/255人）</li> <li>・ブックスタート事業：406名/年12回</li> <li>・読み聞かせ活動の推進</li> <li>・おはなし会の開催年間：延 1,111人（両図書館）</li> <li>・親子読書の集い：6/24 600人</li> </ul>
3 芸術・文化活動の振興・保護・活用に努める	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写生大会 6/4 出品303点 参加者500人 150,000円</li> <li>・美術展 9/23～10/1 出品75点 来場550人、225,000円</li> <li>・文化祭 11/5・6 芸能30団体、作品56団体4個人 950,000円</li> <li>・書初展 1/27・28 出品2,330点 220,000円</li> <li>・日本国際青少年音楽祭 500,000円</li> <li>・その他文化活動の支援</li> </ul>
4 生涯スポーツの奨励と、健康で活力あふれる人づくりの推進	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市スポーツ少年団交流会（H19.3.10/187人/250,000円）</li> <li>・少年野球第31回選抜菊川大会（11.12.19.23/32チーム/100,000円）</li> <li>・小学生女子ソフトボール大会（11.12/9チーム/45,000円）</li> <li>・第23回市長杯小学生バレーボール大会（4.23/36チーム/45,000円）</li> <li>・第2回市長旗少年野球大会（12.16・17/9チーム/45,000円）</li> </ul>
子ども会活動の充実		
1 子ども会活動の充実	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険予知トレーニング</li> <li>・応急手当講習会（5.21/120人）</li> <li>・ドッジボール大会（7.2/総合体育館/19チーム350人）</li> <li>・ウォークラリー大会（12.10/六郷小学校周辺/100人）</li> </ul>
4 子育てを支援する生活環境の整備		
1 良好な居住環境の確保		
生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進		
1 生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	都市計画課 建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮海寺まちづくり推進協議会と協働により作成した潮海寺地区計画により、狭隘市道の整備を推進した。（都市計画課）</li> <li>・通学道路における歩道設置工事を推進した。（建設課）</li> </ul>
2 安心して外で遊べる環境づくり	都市計画課 建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮海寺地区内の防災公園の実施整備計画を作成した。（都市計画課）</li> <li>・生活関連道路改良整備を推進した（建設課）</li> <li>・街路樹の管理や舗装整備、桜つつみの維持管理を行い安心・安全な環境づくりを行った。（建設課）</li> </ul>
3 公共トイレなどの改善	都市計画課	<p>公共施設の増改築時には、ハードビル法及び福祉のまちづくり条例等に、適合するよう推進した。</p>
2 安全な道路交通環境の整備		
道路の整備（安心して歩ける環境）		
1 ガードレール、防護柵の整備	建設課	<p>道路からの転落防止のためガードレールや転落防止柵を設置して安心して生活できる環境づくりに推進した。ガードレールL=366m 転落防止柵等L=152m なお、平成18年度では通学路における安全対策として道路区画線を22.9km設置し交通事故防止の推進を図った。通学路や道路の交差点における歩行者の安全を確保するためカーブミラーを設置した。（14基）</p>
街灯の設置		
1 防犯灯の整備	安全課	<p>夜間歩行者が安心して通行できる環境（犯罪抑止）づくりのため、自治会内で協議の後に申請いただき防犯灯の設置を実施。（87灯設置）</p>
3 安全、安心なまちづくりの整備推進等		
身近で遊べる公園の充実		
1 身近で遊べる公園の充実	こどもみらい課	<p>自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付（2自治会 22,000円）（こどもみらい課）</p>
2 公園の整備	都市計画課 区画整理室	<p>潮海寺地区内の防災公園（2か所）の実施設計を作成した。（都市計画課）</p>
3 既存公園の遊具の安全対策	施設管理課 こどもみらい課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料759,150円 都市公園等28公園（219基 安全定期点検6回/年）修繕531,300円（3公園 4基）（施設管理課）</li> <li>・遊具の設置、撤去、修繕の依頼に対し補助金交付（2自治会 22,000円）（こどもみらい課）</li> </ul>
児童館の充実		
1 行事の開催日数（同様の講座を数回開催すると募集人員の増加）	こどもみらい課 児童館	<p>人気のある講座は同様の講座を2回開催。</p>
2 気軽に利用できるような体制づくりと職員フォロー	こどもみらい課 児童館	<p>「児童館だより」の配付により利用者にPRした。</p>
3 小学生への対応	こどもみらい課 児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日を利用し遊び・体験の教室を開催。</li> <li>・長期休暇を利用した教室の開催。</li> <li>・小学生対象のボランティアサークルの開催。</li> </ul>

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計	画	担当課	
図書館			
1	子どもコーナーの充実	図書館	児童書の購入（両館）による蔵書数の増 蔵書数H7年度末 51,084冊 H18年度末 54,467冊 3,383冊の増
5 子ども等の安全の確保			
1 子どもの交通安全を確保するための活動の推進			
子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策			
1	子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策	安全課 学校教育課	・四季の交通安全運動期間中に市内主要交差点並びに通学路（計47箇所）などで交通指導員による交通指導を行った。また、年間通じ学校や幼稚園、保育所などで交通安全教室を開催し、交通安全指導を行った。（安全課） ・「地域ぐるみの学校安全推進事業」を展開し、地域全体で子ども達を見守る取組ができた。（学校教育課）
事故を未然に防ぐ安全運転ビー・アール			
1	事故を未然に防ぐ安全運転ビー・アール	安全課	警察署などと連携し、運転手へ安全運転の意識が高まるよう啓発・活動並びにイベントに参加し、交通安全を呼びかけた。
通学路の安全確保			
1	通学路の安全確保	安全課 学校教育課	・PTAや自治会を中心に、通学路の安全点検に取り組み、危険箇所については、警察署及び各関係機関と協議し対応した。（安全課） ・各幼稚園・小・中学校において、保護者とともに通学路の危険場所を確認する安全学習に取り組んだり、不審者対応訓練の実施を行った。（学校教育課）
2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進			
声かけ運動の推進			
1	声かけ運動の推進	学校教育課	各校で「ふれ愛さつ運動」を継続し、学年の保護者やPTA安全部などの組織を通じて、声かけ運動を実施できた。（学校教育課）
スクールガード・わんわんパトロールの全地域への普及			
1	スクールガード・わんわんパトロールの全地域への普及	学校教育課	「地域ぐるみの学校安全推進事業」を展開し、約150ある自治会から3名ずつスクールガードを出ていただくようお願いし、登下校時の見回り活動を行い、地域全体で子ども達を見守る取組ができた。
学校の安全対策強化			
1	学校の安全対策強化	学校教育課	「地域ぐるみの学校安全推進事業」を継続し、のぼり旗・ステッカー・タスキ等を今年度も購入し、各地域に自治会を通じて配布し地域への協力を呼びかけた。また、CAPによる子ども防犯講習会や子どもによる「子ども110番の家」挨拶回り、登校グループで安全マップによる通学路の確認など、各校で工夫した安全教育の実施を行った。
6 職業生活と家庭生活との両立の推進			
1 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し等			
企業が子育てで夫婦に対して理解を示せる体制づくり			
1	企業への働きかけ	商工観光課 こどもみらい課	啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。（商工観光課）
2	育児休暇取りやすい環境づくり	商工観光課 こどもみらい課	啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。（商工観光課）
父親の子育て参加への呼びかけ（男女共同参画社会）			
1	母子健康手帳交付時に父親の参加への呼びかけ	健康福祉課	母子手帳交付時に父子手帳の配布を行った。プレママ・パパサロンのちらしの配布と参加の勧めを行った。
2	両親教室の開催	健康福祉課	プレママ・パパサロンの実施。年間3回（実績は前項目参照）
2 仕事と子育ての両立の推進			
企業が配慮する、仕事と子育てを両立する女性への子育て支援			
1	女性の労働環境の整備	商工観光課 企画政策課	啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。（商工観光課）
2	保育支援体制の充実	こどもみらい課	啓発ポスターの掲示・パンフレット配架、広報掲載によるセミナー等の周知。
増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実（再掲）			
1	未実施学校への学童保育の導入	こどもみらい課	市内全校対象に7クラブ8か所開設。
2	緊急時気軽に利用できる学童保育	こどもみらい課	通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童の受け入れが可能。
3	夏休み等の預かり	こどもみらい課	短時間バートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受け入れをした。
4	学童保育の充実	こどもみらい課	指導員研修を年11回実施した。
7 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進			
1 児童虐待防止対策の充実			
虐待防止対策強化と発見時の対応ビー・アール			
1	虐待防止対策強化と発見時の対応ビー・アール	こどもみらい課	・要保護児童対策地域協議会の開催。 代表者会議：1回開催 実務者会議：6回開催 個別ケース検討会：51ケース88回開催 ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。
相談体制と保護の確立			
1	相談体制と保護の確立	こどもみらい課	・要保護児童対策地域協議会の開催。 代表者会議：1回開催 実務者会議：6回開催 個別ケース検討会：51ケース88回開催 ・虐待防止月間中、広報に虐待予防の記事を掲載。
2 ひとり親家庭等の自立支援の推進			
母子家庭の支援			
1	母子家庭の支援	こどもみらい課	自立支援教育訓練給付 支給4件：114,971円
父子家庭の支援			
1	父子家庭の支援	こどもみらい課	家庭児童相談の実施

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況（平成18年度）

計 画	担当課	
3 障がい児施策の充実		
各機関が連携し継続的に支援を行える体制整備と人材育成		
1 障がいを持つ子どもの支援と親のネットワークフォロー	健康福祉課	子どもを守るネットワーク（療育）にて関係機関で情報交換を実施。（年3回）
2 障がいを持つ子どもの早期発見と継続的なケア	健康福祉課 社会福祉協議会	・めばえ発達相談員による相談を実施。（実施延人数：104名） ・児童デイサービスの実施 832回 ・療育教室「げんきっこ」延185人参加。 ・おもちゃ図書館の開催、手をつなぐ育成会の支援。（健康福祉課）
3 障がいを持つ子の親への支援、カウンセリング	健康福祉課 社会福祉協議会	療育教室「げんきっこ」の実施 参加延人数：185人 その中で親同士の交流や個別対応にて支援を行う。（健康福祉課）
4 障がいを持つ子の幼稚園、保育所、小中学校での受け入れ（就学指導員）	学校教育課 こどもみらい課	・市就学指導委員会を年4回開催し、障がいを持つ児童生徒の適切な就学指導を行った。また、特殊教育就学援助費を国庫補助事業により支給した。（学校教育課） ・民間保育園に障がいを持つ子の受け入れをするため、職員加配のための補助金の支払いをした。
5 障がいを持つ子の放課後の充実と親の負担軽減（心身障がい者放課後対策事業）	健康福祉課	・たんぼぼ 846回 ・ふれんずつばさ 1190回 ・障がい福祉サービスの実施 居宅介護 385.5h 行動援護 158.5h 短期入所 394日
心身障がいに対する大人の認識を改める		
1 心身障がいに対する大人の認識を改める	健康福祉課 学校教育課	・個別対応時に関係者や家族へ啓蒙を行った。（健康福祉課） ・就学指導及び特別支援教育について、保護者に正確な理解を促進した。各学校のおたより等で、啓発活動も行った。（学校教育課）
4 要保護・準要保護児童生徒への援助		
要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり		
1 要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	学校教育課	要保護・準要保護児童生徒の世帯へ、就学援助費を支給した。
2 要保護・準要保護児童への支援	学校教育課	要保護・準要保護児童生徒の世帯へ、就学援助費を支給した。
8 その他		
1 経済的な支援		
各種経済的補助の充実		
1 児童手当	健康福祉課 こどもみらい課	・障害児福祉手当件数：22件 ・重度心身障害児扶養手当件数：46件 ・特別児童扶養手当（障害児に対する手当）：86件 ・被用者児童手当 年度末延受給者数：2,814名 支給額：62,495,000円 ・非被用者児童手当 年度末延受給者数：923名 支給額：21,475,000円 ・特別給付 年度末延受給者数：233名 支給額3,110,000円 ・被用者小学校修了前特別給付 年度末延受給者数：5,371名 支給額：184,580,000円 ・非被用者小学校修了前特別給付 年度末延受給者数：1,778名 支給額：57,365,000円
2 経済的な支援	関係各課	・私立幼稚園への就園奨励費補助金の支払い。 H18実績：253人 17,930,300円（こどもみらい課） ・子育て優待カード事業実施。（こどもみらい課）
2 行政サービスの充実		
市民が気軽にサービスを利用できる環境をつくる		
1 職員資質の向上	総務課	・特定事業主行動計画の策定を踏まえ、職員の子育て等の支援を引き続き推進。 ・職員研修の実施。